

小売業の労働災害発生状況

- 小売業の労働災害（休業4日以上）のうち業態別では、食品スーパー、総合スーパー、ホームセンター、ドラッグストア、コンビニエンスストアの順に多い。
- 上記全ての業態で**転倒が最多**で、動作の反動・無理な動作が次に多い。

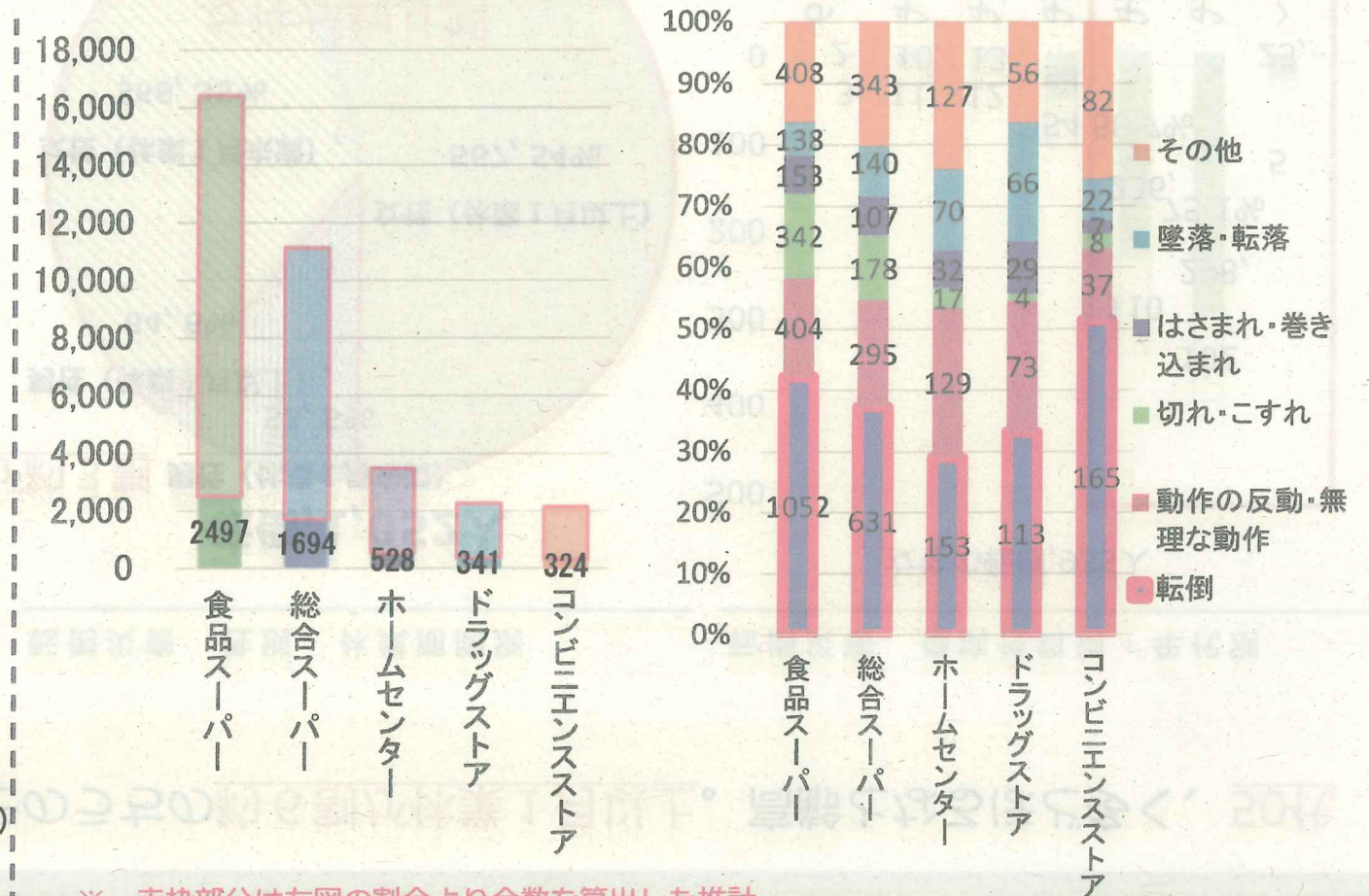
卸売業・小売業の労働災害発生状況

全体の労働災害は、
休業4日以上の労働災害の**約7倍**



※1 平成29年労働者死傷病報告より
 ※2 平成29年度労働者災害補償保険事業年報より
 (新規受給者数は通勤災害を含む年度単位の集計)

小売業の業態別死傷者数（上位5業態） 小売業の業態別・事故の型別死傷者数



※ 赤枠部分は左図の割合より全数を算出した推計

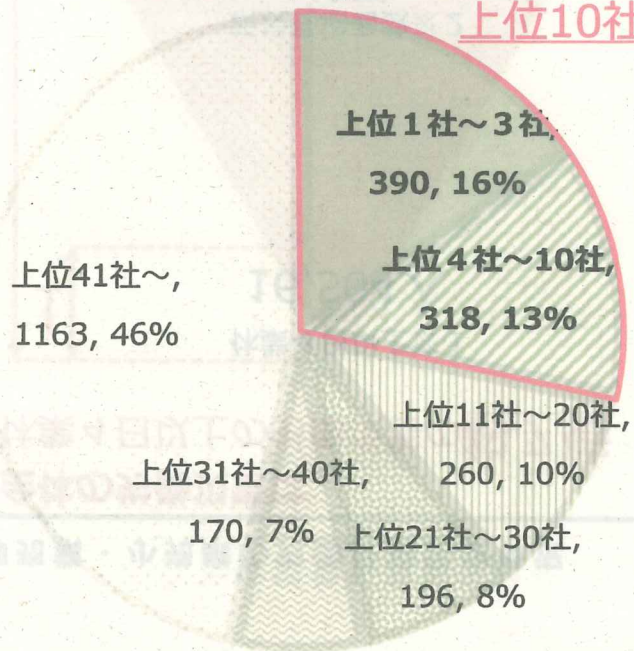
出典：平成29年 労働者死傷病報告を元に中央労働災害防止協会が集計したものより抜粋

食品スーパーの労働災害発生状況

○ 転倒の約9割が女性で、そのうちの約6割が休業1月以上。高齡となるほど多く、50代以上では骨折が約7割。

企業単位別

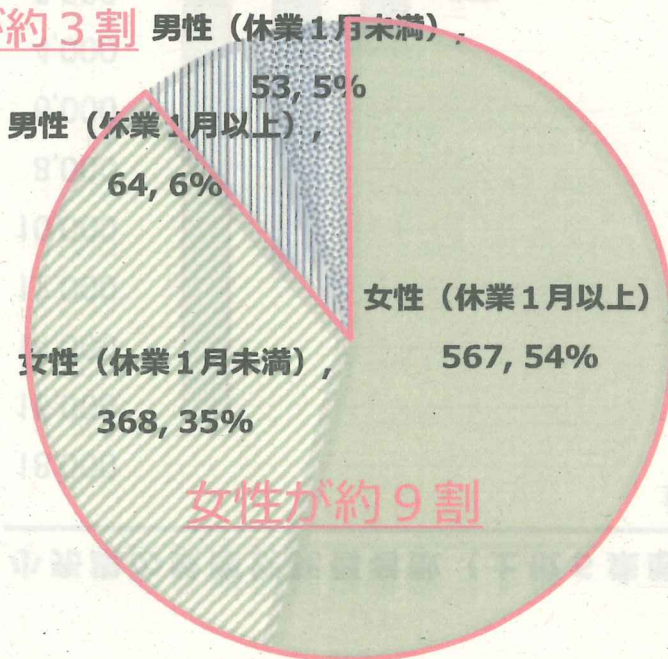
死傷者数, 2,497人



上位10社が約3割

転倒災害 性別・休業期間別

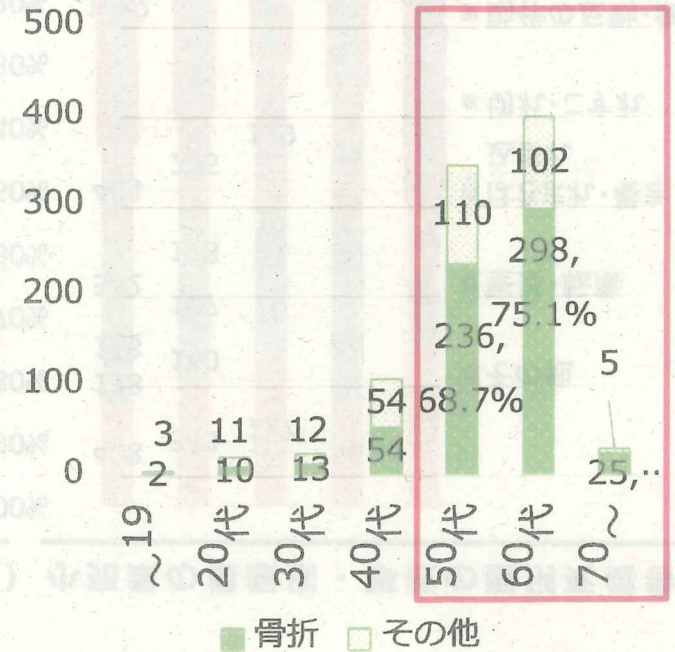
転倒, 1,052人



女性が約9割

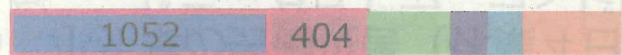
転倒災害 傷病性質別・年代別

女性の転倒, 935人



高齡となるほど多い
50代では骨折が約7割

事故の型別



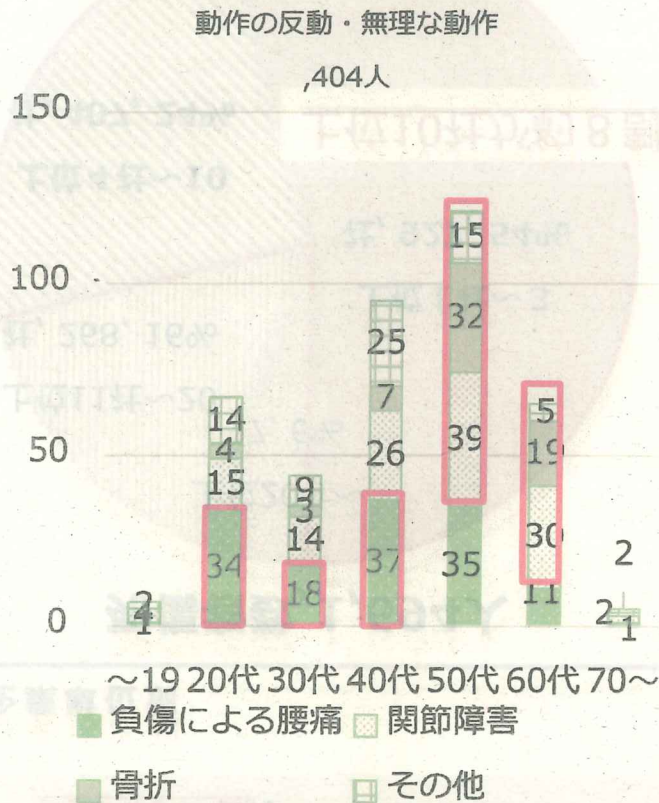
女性の転倒の約6割が休業1月以上

0% 50% 100%
■ 転倒 ■ 動作の反動・無理な動作
転倒が42%、動作の反動・無理な動作が16%

食品スーパーの労働災害発生状況

- 動作の反動・無理な動作による労働災害は、40代まででは腰痛が最多。50代以降は関節障害、骨折が多くなる。
- 転倒災害を場所別で推計すると36%が店舗内、24%がバックヤードで発生。店舗内での転倒災害のうち、つまづきによるものが48%。 バックヤードでの転倒災害のうち、滑りによるものが46%。

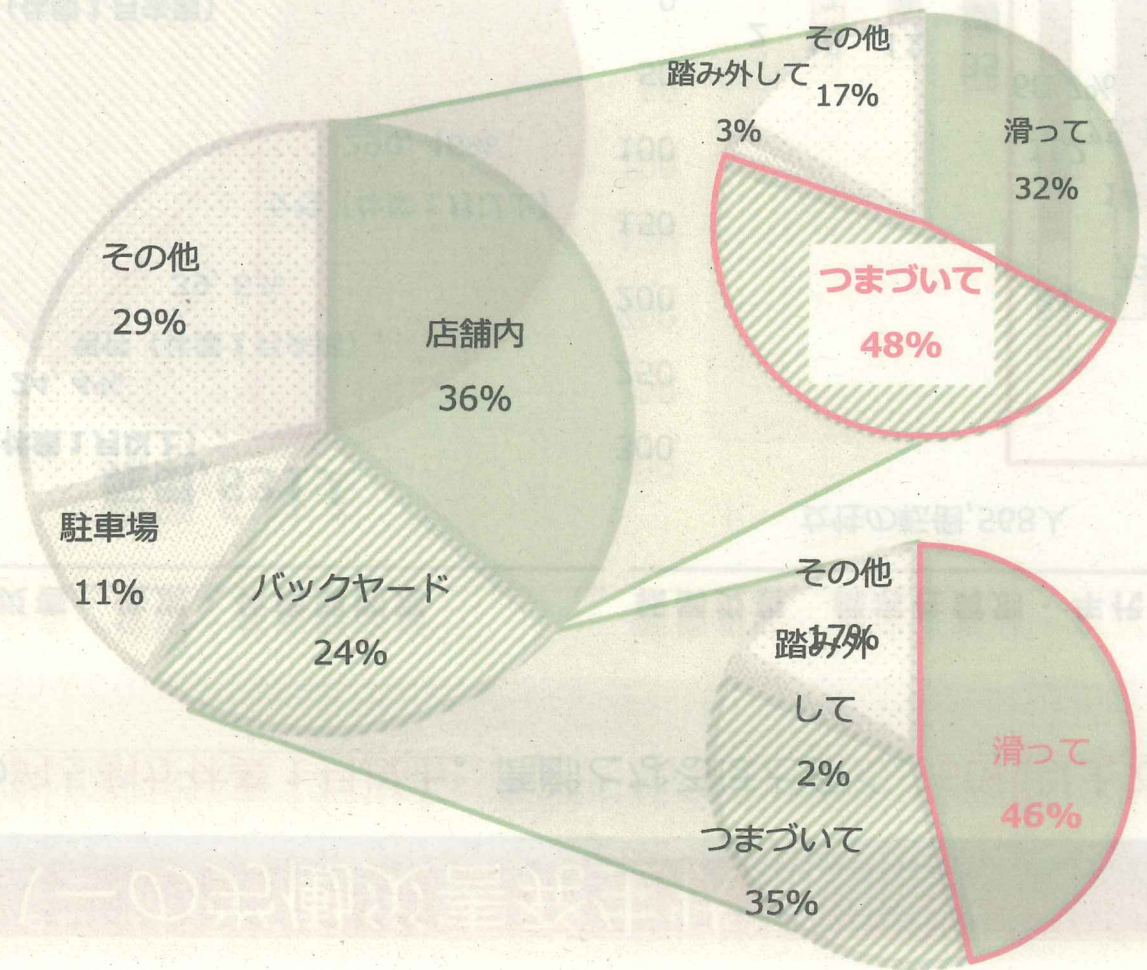
動作の反動・無理な動作
年代別・傷病性質別



50代以降で関節障害、骨折が多い

転倒災害 発生場所別・要因別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年に食品スーパーで発生した転倒による労働災害1,052件から502件を抽出して集計したもの



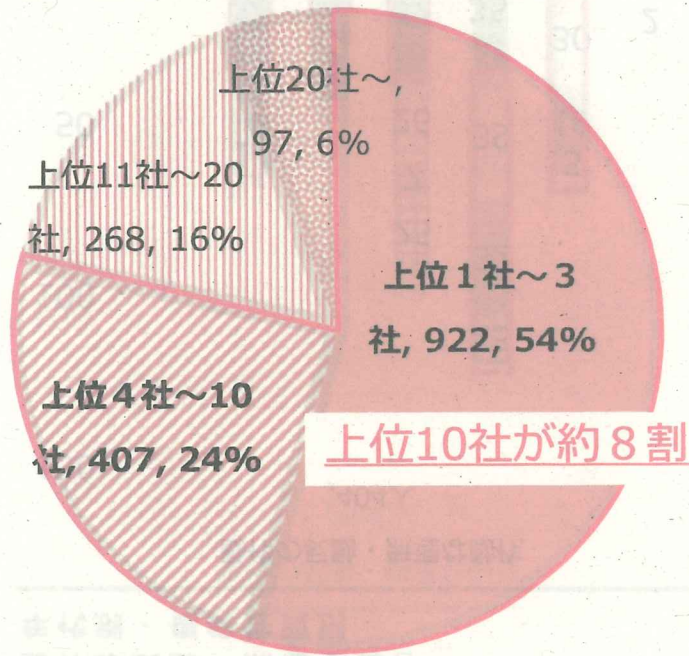
出典：平成29年 労働者死傷病報告を元に中央労働災害防止協会が集計したものより抜粋

総合スーパーの労働災害発生状況

○ 転倒の約9割が女性で、そのうちの約5割が休業1月以上。高齢となるほど多く、50代以上では骨折が約7割。

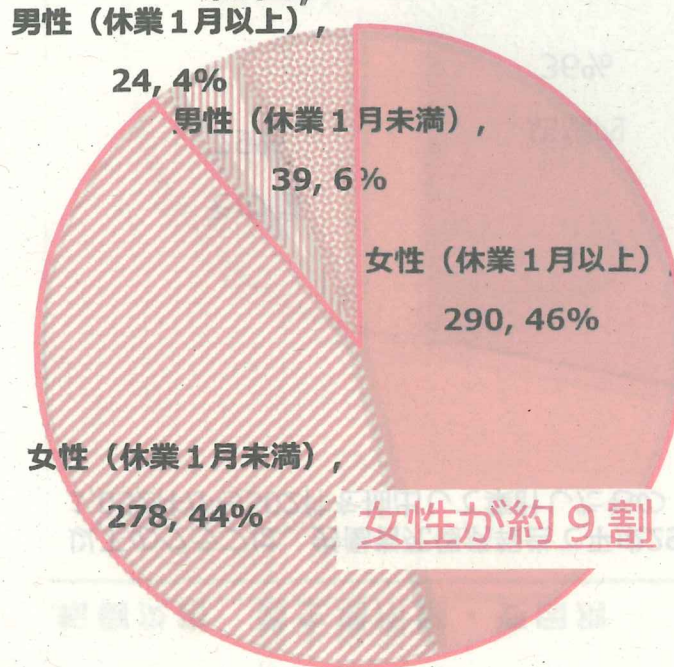
企業単位別

死傷者数,1,694人



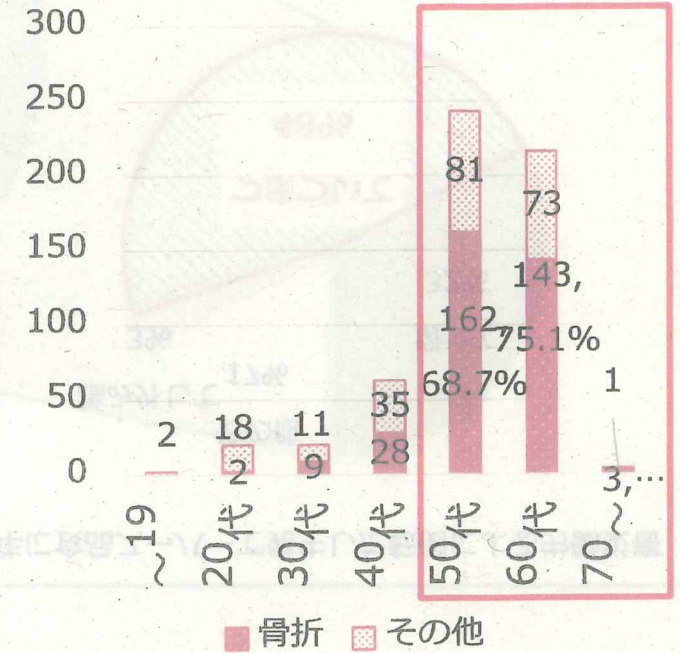
転倒災害 性別・休業期間別

転倒,631人

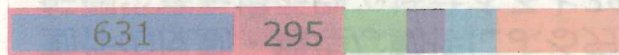


転倒災害 傷病性質別・年代別

女性の転倒,568人



事故の型別



女性の転倒の約5割が休業1月以上

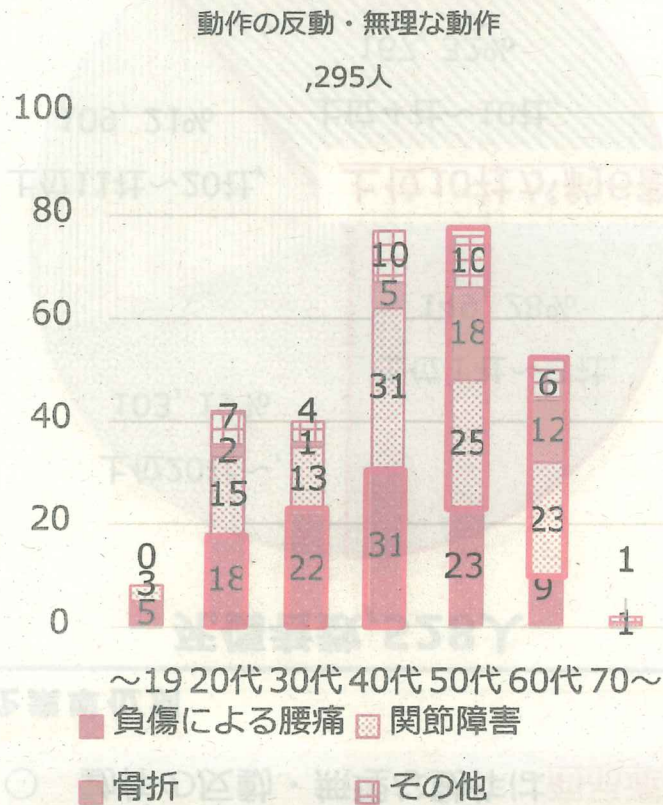
高齢となるほど多い
50代では骨折が約7割

0% 50% 100%
■ 転倒 ■ 動作の反動・無理な動作
転倒が37%、動作の反動・無理な動作が17%

総合スーパーの労働災害発生状況

- 動作の反動・無理な動作による労働災害は、40代まででは腰痛が最多。50代以降は関節障害、骨折が多くなる。
- 転倒災害を場所別で推計すると46%が店舗内、28%がバックヤードで発生。店舗内での転倒災害のうち、つまづきによるものが56%。バックヤードでの転倒災害のうち、滑りによるものが40%。

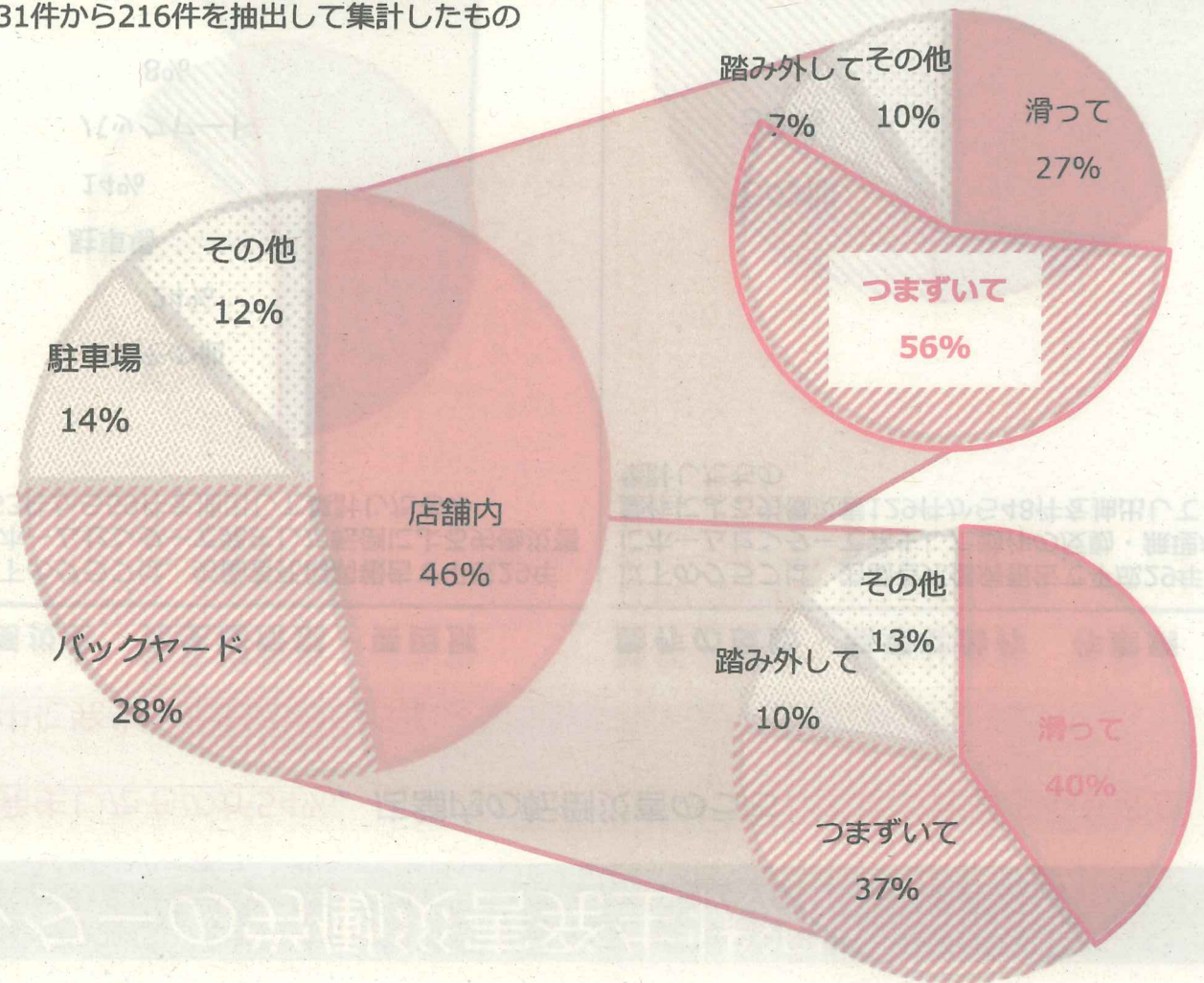
動作の反動・無理な動作 年代別・傷病性質別



50代以降で関節障害、骨折が多い

転倒災害 発生場所別・要因別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年に総合スーパーで発生した転倒による労働災害631件から216件を抽出して集計したもの

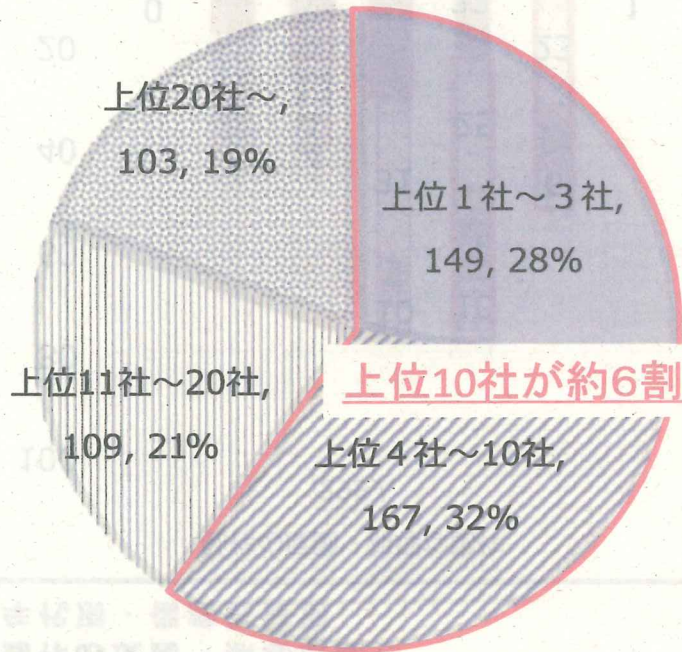


ホームセンターの労働災害発生状況

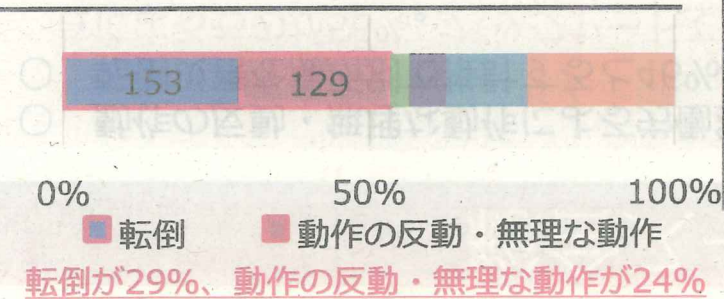
- 転倒災害を場所別で推計すると店舗内で発生したものが54%。店舗内の転倒災害のうち、つまづきによるものが50%。
- 動作の反動・無理な動作は商品運搬作業中に発生したものが62%。

企業単位別

死傷者数,528人

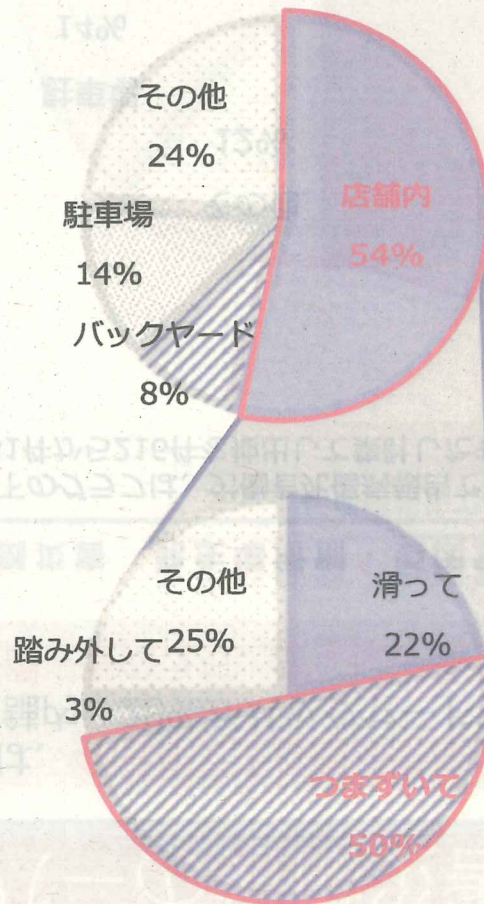


事故の型別



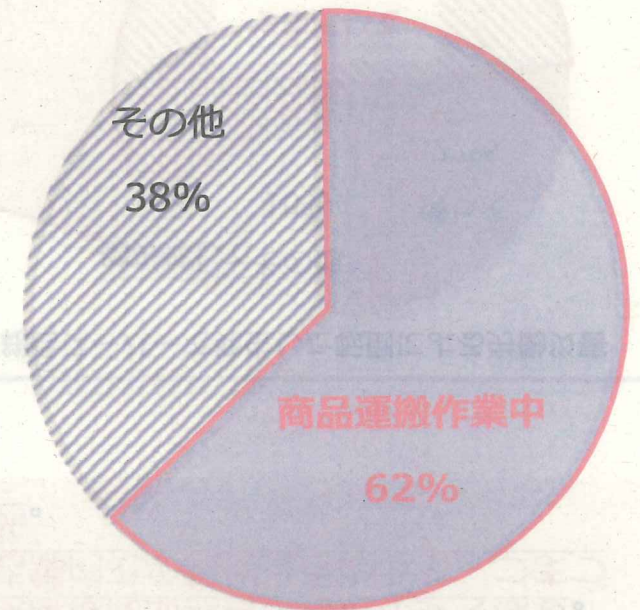
転倒災害 発生場所別・要因別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年にホームセンターで発生した転倒による労働災害153件から59件を抽出して集計したもの



動作の反動・無理な動作 作業別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年にホームセンターで発生した動作の反動・無理な動作による労働災害129件から48件を抽出して集計したもの

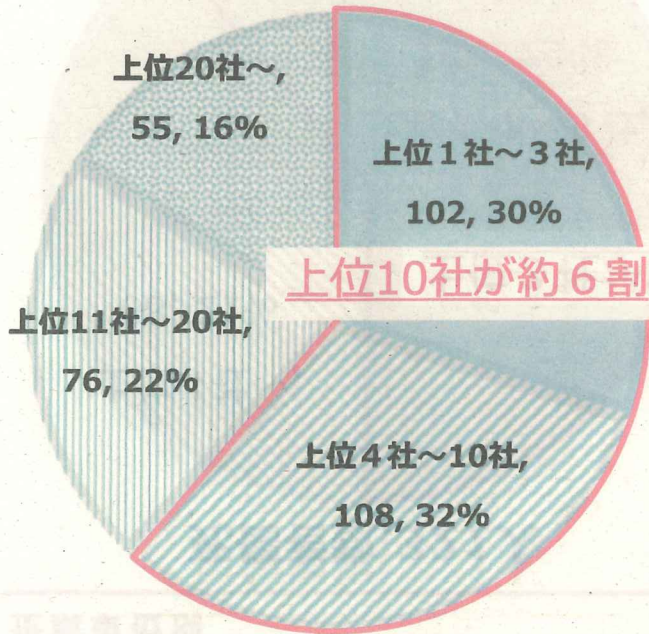


ドラッグストアの労働災害発生状況

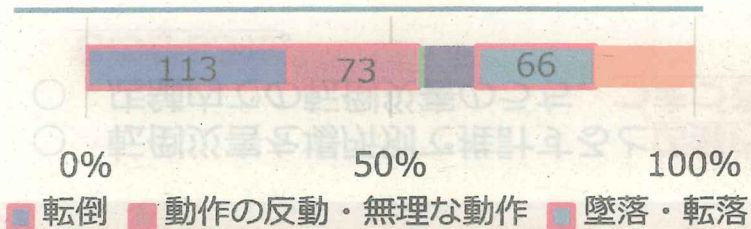
- 転倒災害を場所別で推計すると店舗内で発生したものが40%。店舗内の転倒災害のうち、つまづきによるものが56%。
- 墜落・転落災害のうち脚立からのものが80%。

企業単位別

死傷者数,341人



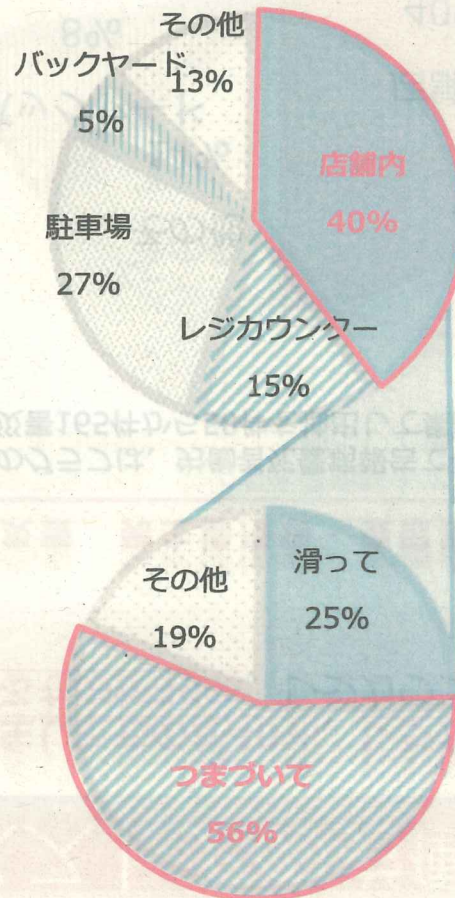
事故の型別



転倒が33%、動作の反動・無理な動作が21%
墜落・転落が19%。

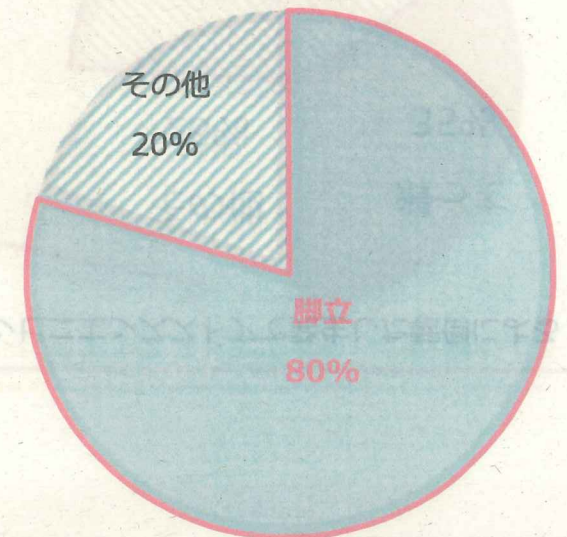
転倒災害 発生場所別・要因別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年にドラッグストアで発生した転倒による労働災害113件から40件を抽出して集計したもの



墜落・転落災害 起因物別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年にドラッグストアで発生した墜落・転落による労働災害29件から10件を抽出して集計したもの

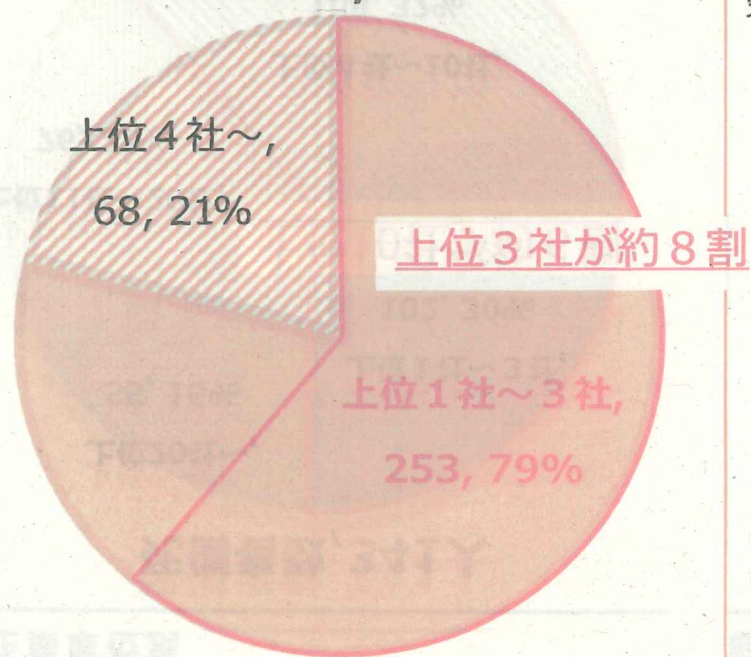


コンビニエンスストアの労働災害発生状況

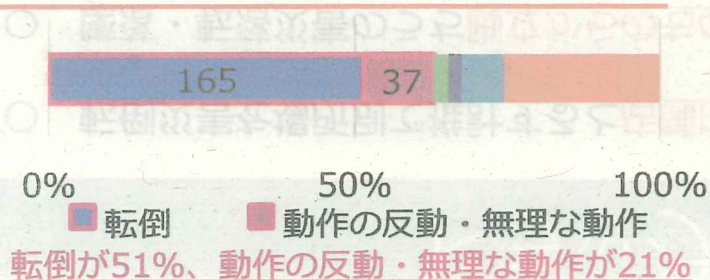
- 転倒災害を場所別で推計すると店舗内で発生したものが40%、レジカウンターで発生したものが21%。
- 店舗内での転倒災害のうち、つまづきによるものが39%。レジカウンターでの転倒災害のうち、つまづきによるものが83%。

企業単位別

死傷者数, 321人



事故の型別



転倒災害 発生場所別・要因別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年にコンビニエンスストアで発生した転倒による労働災害165件から58件を抽出して集計したもの

